

ツノコガネ

Liatongus minutus (Motschulsky)
コウチュウ目・コガネムシ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

全国的に決して稀ではないが、牧場等重要な環境では激滅している。本県では普通に観察されていた勝山市県営六呂師牧場において、近年は全く確認されなくなった。この現象は多くの糞虫類他種にも現れており、このまま推移すれば絶滅が懸念される。

種の特徴

体長約 10 mm、全体艶消しの黒色。背面はやや平らで、前胸に浅い縦溝がある。雄は頭部に長い 1 本角を持つ。山地や高原に生息し、初夏、動物の糞や時に死体に飛来する。

分 布

北海道～九州に分布。県内では六呂師牧場でふつうにみられた。大野市（旧和泉村内）にも古い記録がある。最近では池田町で採れたという画像が公開されている。

生息を脅かす要因

牧場においては飼料に投与する駆虫剤等が糞虫類の成育を阻害するという報告が出ており、本県でも、その影響が懸念される。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会（1985）、掘（2005）、
<http://tokorotennokimoto.blog113>

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
															○	○	

オオマグソコガネ

Aphodius quadratus Reiche
コウチュウ目・コガネムシ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

全国的に決して稀ではないが、牧場等重要な環境では激滅している。本県でも多産していた勝山市県営六呂師牧場において、近年は全く確認されなくなった。この現象は多くの糞虫類他種にも現れており、このまま推移すれば絶滅が懸念される。

種の特徴

体長 10 mm 内外、全体やや光沢のある黒色、時に上翅は黄褐色。背面はやや平ら。本県で見られるマグソコガネ類の中では格段に大きい。山地や高原に生息し、初夏、動物の糞に飛来する。

分 布

北海道～九州に分布する。県内では六呂師牧場で確認されていた。

生息を脅かす要因

牧場においては飼料に投与する駆虫剤等が糞虫類の成育を阻害するという報告が出ており、本県でも、その影響が懸念される。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会（1985）、掘（2005）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
												○			○		

ヨツボシマグソコガネ

Aphodius sordidus (Fabricius)
コウチュウ目・コガネムシ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

全国的に決して稀ではないが、牧場等重要な生息環境では激滅している。本県でも多産していた勝山市県営六呂師牧場において、近年は全く確認されなくなった。この現象は多くの糞虫類他種にも現れており、このまま推移すれば絶滅が懸念される。

種の特徴

体長 5 ～ 8 mm、全体光沢のある黒色、上翅は黄褐色で肩と翅端に小さい計 4 紋を持ち、時に斑紋は消失する。同時に得られるマグソコガネに極似し、注意が必要。山地や高原に生息し、初夏と秋、動物の糞に飛来する。

分 布

北海道～九州、屋久島に分布する。県内では六呂師牧場で多産していた。

生息を脅かす要因

牧場においては飼料に投与する駆虫剤等が糞虫類の成育を阻害するという報告が出ており、本県でも、その影響が懸念される。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会（1985）、福井県自然環境保全調査研究会（1998）、掘（2005）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
															○		